

横須賀市立市民病院の現状



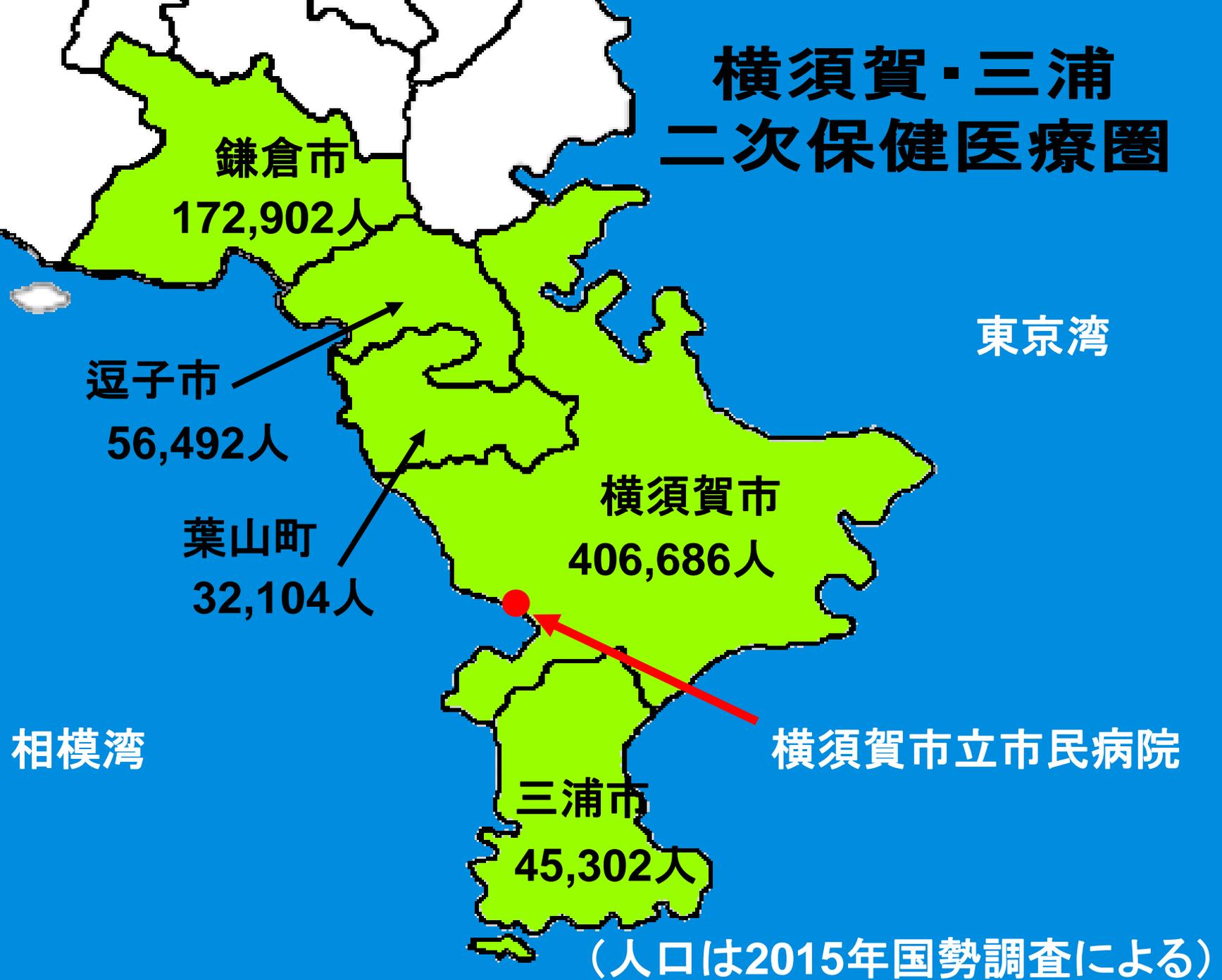
2016年11月10日(木)

管理者 久保 章

(1)病院の現状について

- **病院の特色と特徴**
- **患者の動向と収支の状況**
- **病院運営で苦慮していること**

横須賀・三浦 二次保健医療圏



(人口は2015年国勢調査による)

病院全景



東病棟

中病棟

西病棟

沿革・I

1963年12月 市立武山病院として開設（病床数40床）

1971年4月 横須賀市立市民病院に名称を変更（病床数220床）

1984年4月 第2期増改築工事が完了（診療科目20科、病床数526床、一般病床506床、伝染病床20床）

1998年10月 災害拠点病院に指定

1999年4月 第二種感染症医療機関に指定（一般病床506床、感染症病床6床）

1999年11月 健康管理センターが竣工し、業務を開始

2002年4月 臨床研修指定病院に

2006年7月 病床数を482床に変更

特定集中治療室の施設基準を獲得

沿革・Ⅱ

- 2006年8月 (財) 日本医療機能評価機構の認定病院 (Ver. 4.0)
- 2006年9月 地域医療支援病院となる
- 2007年3月 人間ドック健診施設機能評価認定病院(Ver. 1)
- 2008年7月 医療法施行令の改正に伴い診療科目を29科に
- 2010年4月 公益社団法人地域医療振興協会
横須賀市立市民病院として運営開始(指定管理者制度)
- 2011年11月 (財) 日本医療機能評価機構の認定病院 (Ver. 6.0)
- 2012年4月 人間ドック健診施設機能評価認定病院(Ver. 2)
- 2012年7月 一般病棟入院基本料7:1を取得
- 2014年1月 東棟2階にハイケアユニットを8床で開棟
- 2015年7月 ハイケアユニットを12床に増床
- 2015年12月 特定集中治療室管理加算1取得
- 2016年3月 電子カルテ稼働
- 2016年10月 地域包括ケア病棟を開棟
- 2016年11月 (財) 日本医療機能評価機構の認定病院 (3rdG:Ver1.1)

横須賀市立市民病院

理念

私たちは、生命の尊重と人間愛を基本とし、根拠に基づいた医療の実践と医療倫理を守ります。

基本方針

- 1 私たちは、地域の患者さんに透明性を持った公平で誠実な医療を提供します。
- 2 私たちは、患者さんの権利を尊重し、患者さんを中心としたチーム医療を実践します。
- 3 私たちは、地域の医療ニーズに特化した役割を果たします。
- 4 私たちは、地域医療機関と密接に連携し、地域の医療水準の向上に貢献します。
- 5 私たちは、将来を担う医療技術者の育成に努め、自らも成長し続け、地域医療の発展に貢献します。

患者さんの権利

1. 尊厳に対する権利

個人の尊厳を保ち、人格や価値観などを尊重される権利があります。

2. 知る権利

他の医療機関の医師の意見（セカンドオピニオン）を聞くため、資料を請求する権利があります。

他の医療機関への転院を希望する際は、当院での診療情報を求める権利があります。

自分の診療記録（カルテ）の開示を求める権利があります。

主治医等の説明に疑問や不安を感じ、納得がいかない時などは、再度の説明を求めることや、医療相談員に相談する権利があります。

3. 選択の自由、自己決定の権利

治療方法を選択する権利があります。また、自分の生き方を選ぶ権利があります

4. 良質な医療を受ける権利

適切で、良質な医療を公平に受ける権利があります。

5. 守秘義務に対する権利

個人情報やプライバシーを護られる権利があります。

職員数 (2016.10.1現在)

職員数

合計

608名

【内訳】

- ・ 医師 63人 (常勤)、 61人 (非常勤) 計124人
初期研修医 3人 (常勤) 医師計 127人
- ・ 看護師215人 (常勤)、 64人 (非常勤) 計279人
助産師 5人 (常勤)、 7人 (非常勤) 計 12人
看護職員計 291人
- ・ 医療技術職員 (薬剤師・臨床検査技師・診療放射線技師、リハビリテーション科、臨床工学技士)
95人 (常勤)、 7人 (非常勤) 医療技術職員計102人
- ・ 事務職員等 常勤45人、非常勤43人 計 88人

横須賀市立市民病院概要（2015年度）

- * 運営形態 公設民営（指定管理者制度）
- * 病床数 許可病床 482床 一般476床 感染症6床
稼働病床 284床 一般278床 感染症6床
- * 診療科目 29科
- * 患者数 入院 211.3人/日 計 77,321人
外来 587.6人/日 計 172,762人
- * 診療単価 入院 60,656円 外来 12,064円
- * 病床利用率 74.2%
- * 平均在院日数 14.8日
- * 紹介率 紹介率 87.4% 逆紹介率 56.8%
- * 主な認定状況：地域医療支援病院・基幹型臨床研修指定病院・
第二種感染症指定医療機関・災害拠点病院・D P C対象病院・病
院機能評価認証（3rdGVer.1.11）・人間ドック機能評価認証
（Ver.2）

主な認定状況

地域医療支援病院

基幹型臨床研修指定病院

第二種感染症指定医療機関

災害拠点病院、初期被ばく医療機関

D P C 対象病院(Ⅲ群、機能評価係数1.3547：Ⅱ群1446病院中228位、神奈川県72病院中17位)

病院機能評価認証 (3rdGVer.1.1)

人間ドック機能評価認証 (Ver.2)

特定集中治療室管理加算 1

総合入院体制加算 3

教育施設認定学会

日本内科学会認定医制度教育病院

日本消化器病学会専門医制度認定施設

日本腎臓学会専門医研修施設

日本高血圧学会専門医認定施設

日本心血管インターベンション学会研修施設

日本血液学会専門医制度血液研修施設

日本外科学会外科専門医制度修練施設

日本臨床腫瘍学会認定施設

日本脳卒中学会認定研修教育病院

日本形成外科学会教育関連施設

日本リウマチ学会教育施設

日本皮膚科学会認定専門医研修施設

日本眼科学会専門医制度研修施設

日本医学放射線学会放射線科専門医修練協力機関

日本放射線腫瘍学会認定協力施設

日本麻酔学会麻酔指導病院

日本アレルギー学会専門医教育研修施設

日本人間ドック学会 人間ドック・健診施設機能評価認定施設

日本大腸肛門病学会認定施設

日本呼吸器学会専門医認定施設

日本消化器内視鏡学会専門医指導施設

日本透析医学会認定制度教育関連施設

日本循環器学会認定循環器専門医研修施設

日本神経学会准教育施設

日本糖尿病学会認定教育施設

日本消化器外科学会専門医修練施設

日本脳神経外科学会専門医認定制度指定訓練場所

日本整形外科学会専門医制度研修施設

日本精神神経学会専門医制度研修施設

日本小児科学会小児科専門医研修施設

日本泌尿器学会専門医制度研修施設

日本耳鼻咽喉科学会専門医研修施設

日本病理学会研修施設

日本臨床細胞学会教育認定施設

日本がん治療認定医機構認定研修施設

日本臨床薬理学会認定医制度研修施設

日本病院会 優良人間ドック・検診施設 指定施設

(総計 37学会)

専門医等の取得状況

日本整形外科学会専門医6人
日本麻酔科学会専門医2人
日本眼科学会専門医2人
日本耳鼻咽喉科学会専門医2人
日本形成外科学会専門医1人
総合内科専門医8人
日本糖尿病学会専門医1人
日本血液学会専門医3人
日本呼吸器学会専門医2人
日本腎臓学会専門医3人
日本内分泌学会専門医1人
日本臨床細胞学会細胞診専門医1人
日本脳神経外科学会専門医2人
日本神経内科学会専門医2人
日本アレルギー学会専門医1人
日本脳卒中学会専門医 2人
プライマリケア学会指導医 3人
日本がん治療認定医 6人
日本大腸肛門病学会指導医1人

日本皮膚科学会専門医1人
日本医学放射線学会専門医1人
日本産科婦人科学会専門医2人
日本泌尿器科学会専門医3人
日本病理学会専門医1人
日本外科学会専門医5人
日本肝臓学会専門医1人
日本循環器学会専門医4人
日本消化器病学会専門医5人
日本小児科学会専門医1人
日本消化器外科学会専門医4人
日本透析医学会専門医1人
日本消化器内視鏡学会専門医3人
日本リウマチ学会専門医1人
日本精神神経学会専門医1人
日本心血管インターベンション治療学会専門医 1人
高血圧学会指導医 2人
日本臨床薬剤学会指導医 1人
(総計 37学会延べ 87人)

認定看護師・薬剤師・専門看護師等の取得状況

感染症看護専門看護師 1人
感染管理認定看護師 1人
救急看護認定看護師 1人
皮膚・排泄ケア認定看護師 1人
緩和ケア認定看護師 1人
がん性疼痛看護認定看護師 1人
透析看護認定看護師 1人
訪問看護認定看護師 1人

認定看護管理者
看護管理認定取得者 1人
サードレベル 1人
セカンドレベル 2人
ファーストレベル 14人
看護教員研修課程修了者 1人

がん薬物療法認定薬剤師
緩和薬物療法認定薬剤師
外来がん治療認定薬剤師

5疾病5事業に対する取り組みについて

・5疾病

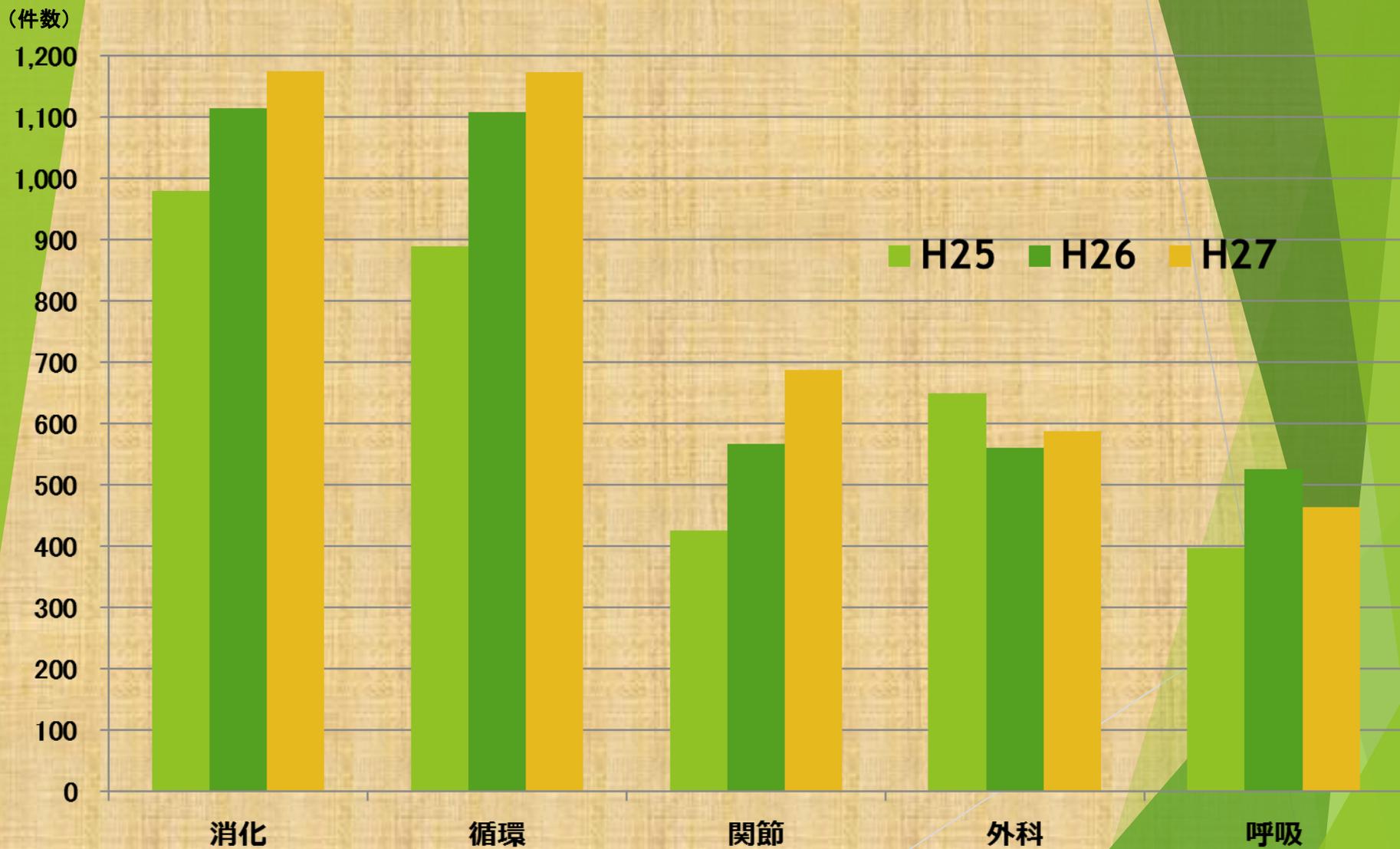
がん	予防（健診）、手術・放射線治療・化学療法、緩和ケア、在宅まで一貫したフォロー体制。 センター化により内科・外科の垣根を超えた診療を提供。
脳卒中	神経内科・脳神経外科の連携による診療体制。 3.0テスラMRIにより解像度の高い画像での診断が可能。 リハビリスタッフの充実。
急性心筋梗塞	24時間365日の救急受入体制。近隣医療機関との連携。 リハビリスタッフの充実。
糖尿病	専門医3名が在籍し、他診療科と連携し、合併症に対応できる診療体制。糖尿病ケアチームによる活発な活動。（外来糖尿病教室・世界糖尿病デーの開催等）
精神疾患	常勤医による地域医療機関との連携による診療体制。 身体疾患の治療を要する患者で、精神症状を伴う患者の診療を中心に実施。 （精神疾患診療体制加算2取得）

5疾病5事業に対する取り組みについて

・5事業

救急医療	24時間365日救急受入体制。ICU 4床、HCU 1 2床。 救急医療センターも遠方なため、三浦半島西地区の救急医療の要となっている。 ※ICUは加算1を取得。 ※横須賀市ワークステーション事業に参画。
災害医療	災害拠点病院、初期被ばく医療機関、DMATチーム配備。 東日本大震災にて支援実績あり。
へき地医療	へき地医療機関へ医師、看護師、薬剤師、理学療法士等を派遣。
周産期医療	院内助産による対応。マタニティヨガ、産後ケア等の取り組み。
小児医療	平日外来診療を午前中だけでなく15時まで実施。 平日は1次救急診療を17時まで実施。

平成25～27年度 年間診療科別入院件数 TOP5



平成27年度 DPC MDC2 件数

順位	MDC2	MDC2名称	MDC2・件数	MDC2・金額（円）
1	06	消化器系疾患、肝臓・胆道・膵臓疾患	1,388	774,954,720
2	05	循環器系疾患	1,078	999,644,440
3	04	呼吸器系疾患	684	607,324,194
4	07	筋骨格系疾患	652	838,427,466
5	16	外傷・熱傷・中毒	423	409,107,842
6	01	神経系疾患	273	307,991,124
7	11	腎・尿路系疾患及び男性生殖器系疾患	271	203,371,598
8	10	内分泌・栄養・代謝に関する疾患	170	87,051,312
9	13	血液・造血器・免疫臓器の疾患	156	256,516,176
10	02	眼科系疾患	142	38,862,594
11	03	耳鼻咽喉科系疾患	134	38,269,298
12	08	皮膚・皮下組織の疾患	89	34,059,384
13	18	その他	70	84,990,842
14	15	小児疾患	59	17,987,984
15	09	乳房の疾患	37	28,137,358
16	12	女性生殖器系疾患及び産褥期疾患・異常妊娠分娩	3	611,280
17	14	新生児疾患、先天性奇形	2	539,250
18	17	精神疾患	2	511,982

平成25～27年度 年間MDC2別入院件数 TOP5



平成27年度 DPC MDC6 件数TOP 20

順位	MDC6	MDC6名称	MDC6・件数	MDC6・金額(円)
1	050050	狭心症、慢性虚血性心疾患	631	412,239,932
2	070230	膝関節症(変形性を含む。)	509	687,244,326
3	060100	小腸大腸の良性疾患(良性腫瘍を含む。)	258	43,219,894
4	040081	誤嚥性肺炎	223	252,654,852
5	040080	肺炎、急性気管支炎、急性細気管支炎	221	178,534,492
6	050130	心不全	196	215,608,126
7	060210	ヘルニアの記載のない腸閉塞	172	97,623,492
8	010060	脳梗塞	133	166,066,142
9	110280	慢性腎炎症候群・慢性間質性腎炎・慢性腎不全	133	120,584,512
10	020110	白内障、水晶体の疾患	129	36,424,080
11	060340	胆管(肝内外)結石、胆管炎	126	82,241,028
12	160800	股関節大腿近位骨折	109	177,750,430
13	110310	腎臓または尿路の感染症	96	57,753,426
14	060020	胃の悪性腫瘍	94	80,267,804
15	100070	2型糖尿病(糖尿病性ケトアシドーシスを除く。)	93	47,534,490
16	040040	肺の悪性腫瘍	82	55,201,552
17	050170	閉塞性動脈疾患	81	72,361,324
18	060035	結腸(虫垂を含む。)の悪性腫瘍	72	70,771,806
19	050030	急性心筋梗塞(続発性合併症を含む。)、再発性心筋梗塞	68	200,020,378
20	060335	胆嚢水腫、胆嚢炎等	67	46,275,230

平成25～27年度 年間MDC6別入院件数 TOP5

(件数)



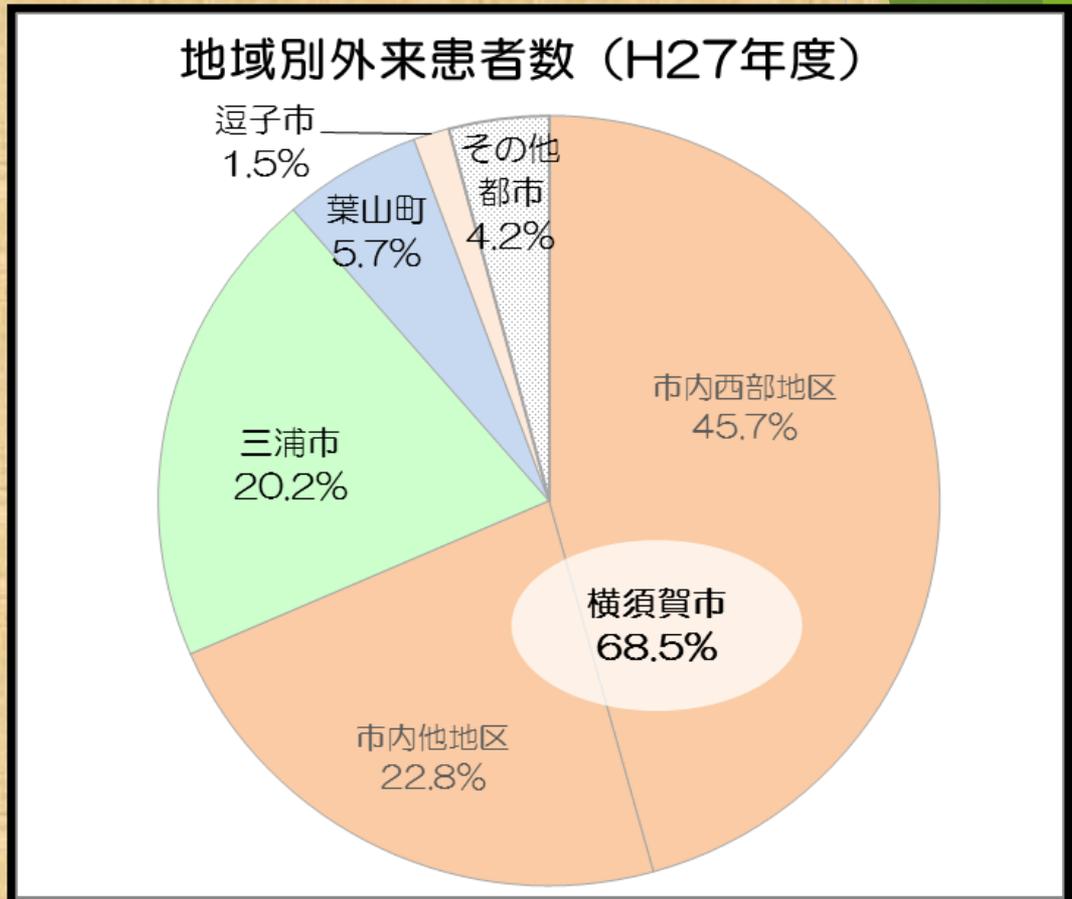
平成27年度 DPC Kコード別 件数TOP20

順位	K-Code	手術名称	K-Code・件数	K-Code・金額(円)
1	K5493	経皮的冠動脈ステント留置術(その他)	239	389,201,542
2	K7211	内視鏡的結腸ポリープ・粘膜切除術(長径2cm未満)	239	38,089,354
3	K0542	骨切り術 前腕、下腿	231	408,212,884
4	K0483	骨内異物(挿入物を含む。)除去術 前腕、下腿	191	99,119,054
5	K068-2	関節鏡下半月板切除術	185	265,544,454
6	K0821	人工関節置換術 肩、股、膝	138	255,901,074
7	K2821□	水晶体再建術(眼内レンズを挿入する場合)(その他)	129	38,046,810
8	K066-21	関節鏡下関節滑膜切除術 肩、股、膝	83	133,363,476
9	K0461	骨折観血的手術 肩甲骨、上腕、大腿	71	98,506,076
10	K688	内視鏡的胆道ステント留置術	62	58,789,816
11	K6335	鼠径ヘルニア手術	59	18,003,454
12	K0492	骨部分切除術 前腕、下腿	56	94,828,452
13	K654	内視鏡的消化管止血術	54	38,891,984
14	K664	胃瘻造設術(経皮的内視鏡下胃瘻造設術、腹腔鏡下胃瘻造設術を含む)	49	109,939,176
15	K0811	人工骨頭挿入術 肩、股	49	104,163,262
16	K672	胆嚢摘出術	49	63,632,616
17	K616	四肢の血管拡張術・血栓除去術	45	60,402,854
18	K0462	骨折観血的手術 前腕、下腿、手舟状骨	41	39,952,582
19	K6871	内視鏡的乳頭切開術 乳頭括約筋切開のみのもの	38	30,036,630
20	K550-2	経皮的冠動脈血栓吸引術	36	121,595,900

地区別外来患者数（H27年度）

	横須賀市			三浦市	葉山町	逗子市	その他 都市	合 計
	西部地区	その他	市 計					
入院患者実数	78,983	39,402	118,385	34,837	9,924	2,540	7,175	172,861
構成比	45.7%	22.8%	68.5%	20.2%	5.7%	1.5%	4.2%	
<参考>								
横須賀市内構成比	66.7%	33.3%						

西部地区は横須賀市西行政センター管轄地区を集計。

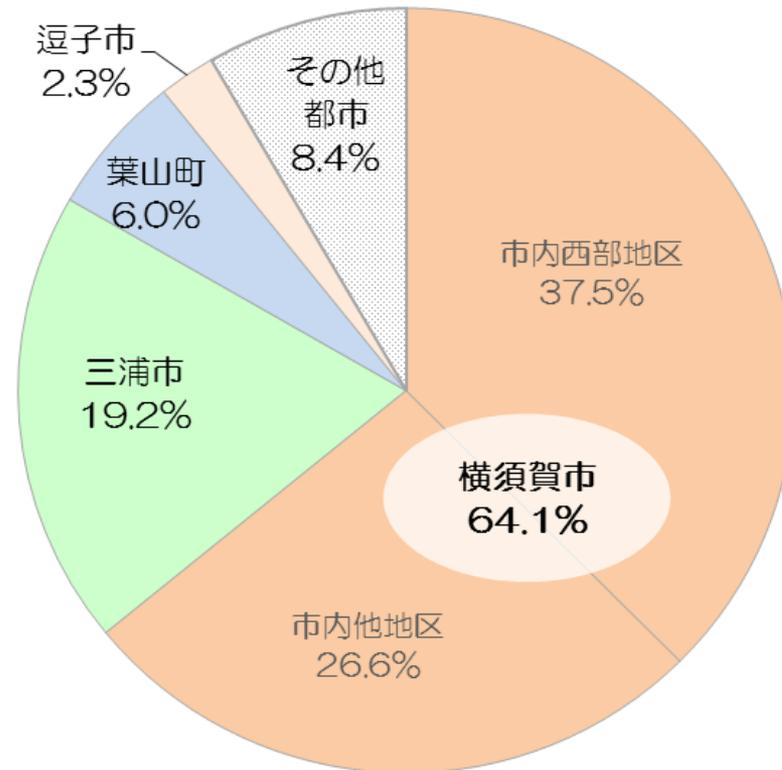


地区別入院患者実数（H27年度）

	横須賀市			三浦市	葉山町	逗子市	その他都市	合計
	西部地区	その他	市計					
入院患者実数	2,143	1,517	3,660	1,098	340	134	479	5,711
構成比	37.5%	26.6%	64.1%	19.2%	6.0%	2.3%	8.4%	
<参考>								
横須賀市内構成比	58.6%	41.4%						

西部地区は横須賀市西行政センター管轄地区を集計。

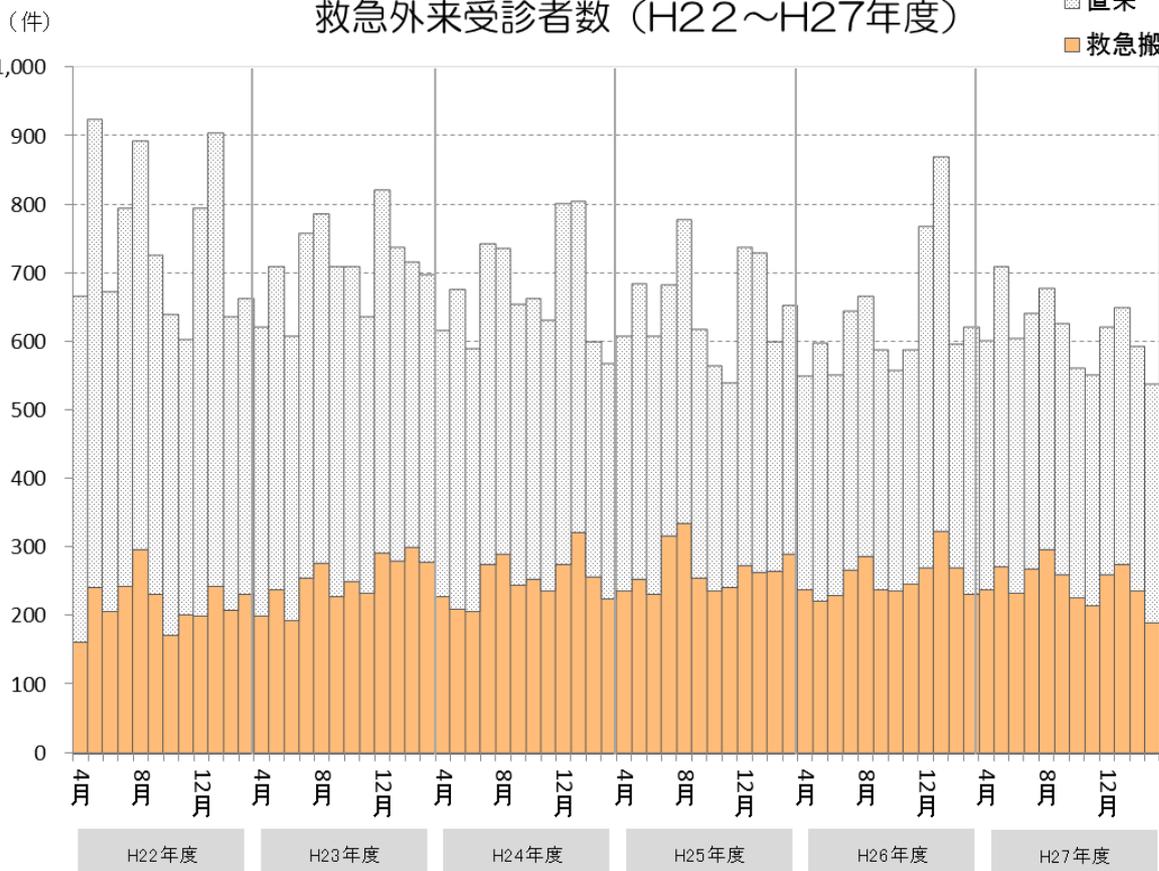
地域別入院患者実数（H27年度）



救急患者数 (H22~H27年度)

救急外来受診者数 (H22~H27年度)

■ 直来
■ 救急搬送



H22年度													
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
直来	505	682	466	550	596	495	468	401	593	660	426	431	6,273
救急搬送	162	242	207	244	297	232	172	202	201	245	210	232	2,646
合計	667	924	673	794	893	727	640	603	794	905	636	663	8,919

H23年度													
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
直来	420	469	414	502	510	479	459	403	528	458	417	420	5,479
救急搬送	201	240	194	256	277	230	251	234	293	280	300	279	3,035
合計	621	709	608	758	787	709	710	637	821	738	717	699	8,514

H24年度													
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
直来	386	486	382	467	446	408	410	394	525	483	343	342	5,053
救急搬送	230	211	208	276	290	246	254	238	276	322	257	226	3,034
合計	616	677	590	743	736	655	664	632	801	805	600	568	8,087

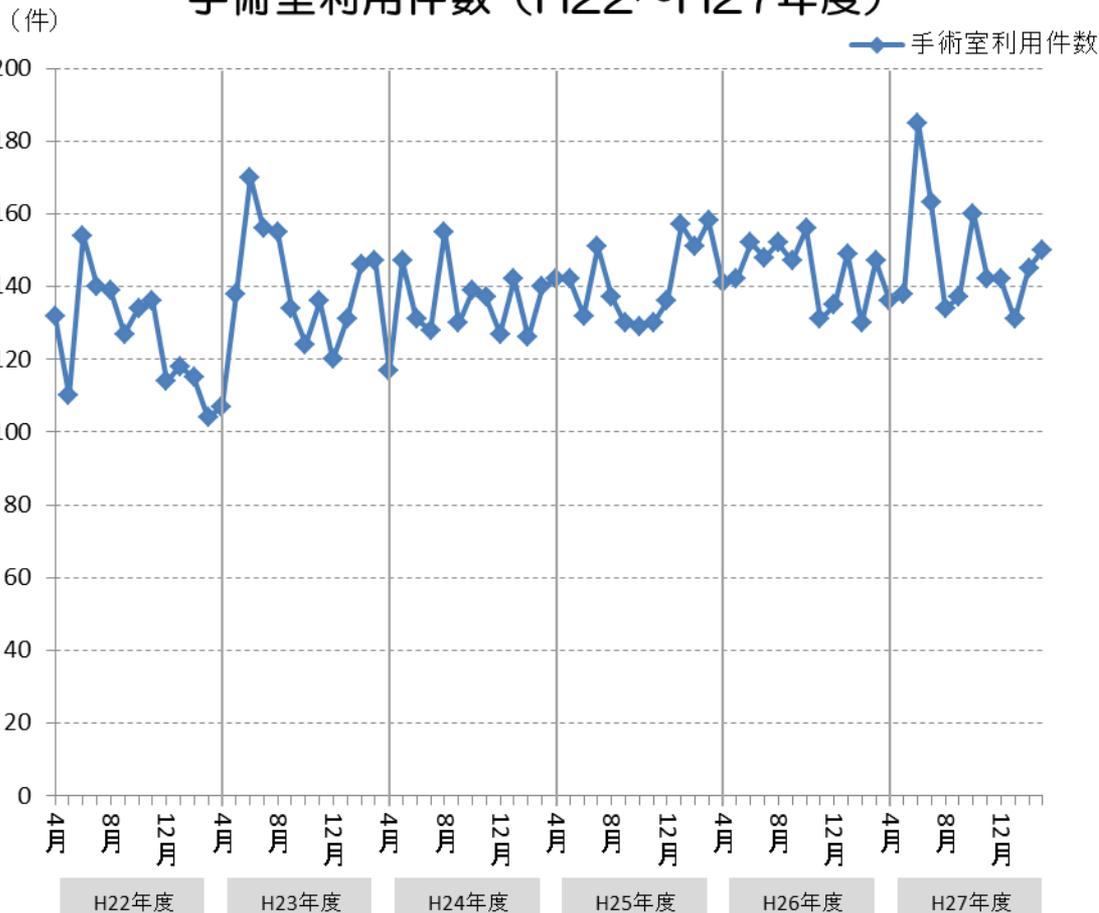
H25年度													
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
直来	370	431	377	367	442	364	327	299	464	466	334	363	4,604
救急搬送	238	254	232	317	336	255	238	242	274	264	266	290	3,206
合計	608	685	609	684	778	619	565	541	738	730	600	653	7,810

H26年度													
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
直来	310	375	321	377	379	350	321	341	498	546	326	388	4,532
救急搬送	240	223	231	268	287	239	237	248	270	324	270	233	3,070
合計	550	598	552	645	666	589	558	589	768	870	596	621	7,602

H27年度													
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
直来	362	438	370	373	380	366	334	336	362	374	356	347	4,398
救急搬送	239	272	235	269	298	261	228	216	260	276	238	191	2,983
合計	601	710	605	642	678	627	562	552	622	650	594	538	7,381

手術室使用状況（H22～H27年度）

手術室利用件数（H22～H27年度）



H22年度

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
手術室利用件数	132	110	154	140	139	127	134	136	114	118	115	104	1,523

H23年度

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
手術室利用件数	107	138	170	156	155	134	124	136	120	131	146	147	1,664

H24年度

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
手術室利用件数	117	147	131	128	155	130	139	137	127	142	126	140	1,619

H25年度

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
手術室利用件数	142	142	132	151	137	130	129	130	136	157	151	158	1,695

H26年度

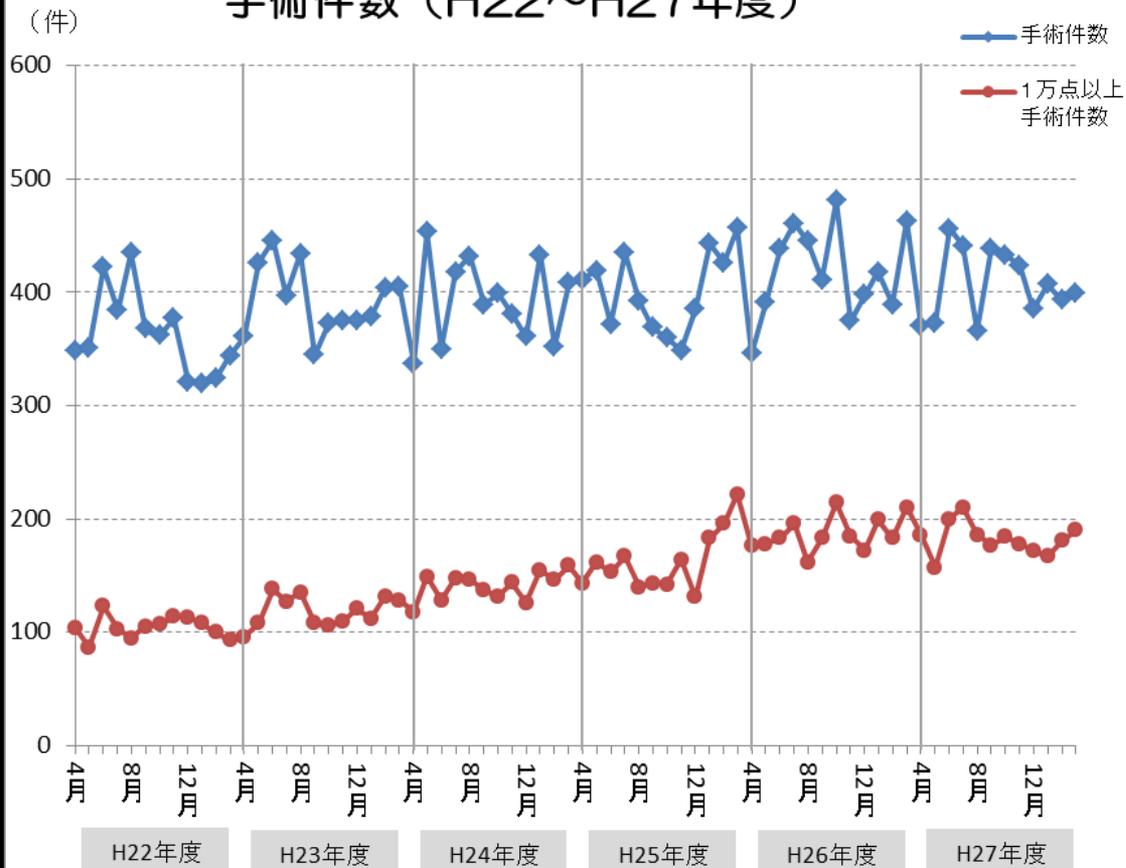
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
手術室利用件数	141	142	152	148	152	147	156	131	135	149	130	147	1,730

H27年度

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
手術室利用件数	136	138	185	163	134	137	160	142	142	131	145	150	1,763

手術件数 (H22~H27年度)

手術件数 (H22~H27年度)



H22年度													
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
手術件数	349	351	422	384	435	368	362	377	321	320	324	344	4,357
1万点以上手術件数(再掲)	104	87	123	103	95	105	107	114	113	108	100	93	1,252

H23年度													
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
手術件数	361	426	446	397	434	345	373	375	378	404	405	4719	
1万点以上手術件数(再掲)	96	108	138	127	135	108	106	110	121	112	132	128	1,421

H24年度													
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
手術件数	337	453	350	418	432	389	399	381	361	433	352	408	4,713
1万点以上手術件数(再掲)	118	149	128	148	147	137	132	144	126	155	146	159	1,689

H25年度													
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
手術件数	411	419	372	435	392	369	360	349	385	443	426	457	4,818
1万点以上手術件数(再掲)	143	162	153	167	140	143	142	164	131	183	196	222	1,946

H26年度													
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
手術件数	346	391	438	461	445	411	481	375	398	418	389	463	5,016
1万点以上手術件数(再掲)	176	178	183	196	162	183	214	185	172	199	183	210	2,241

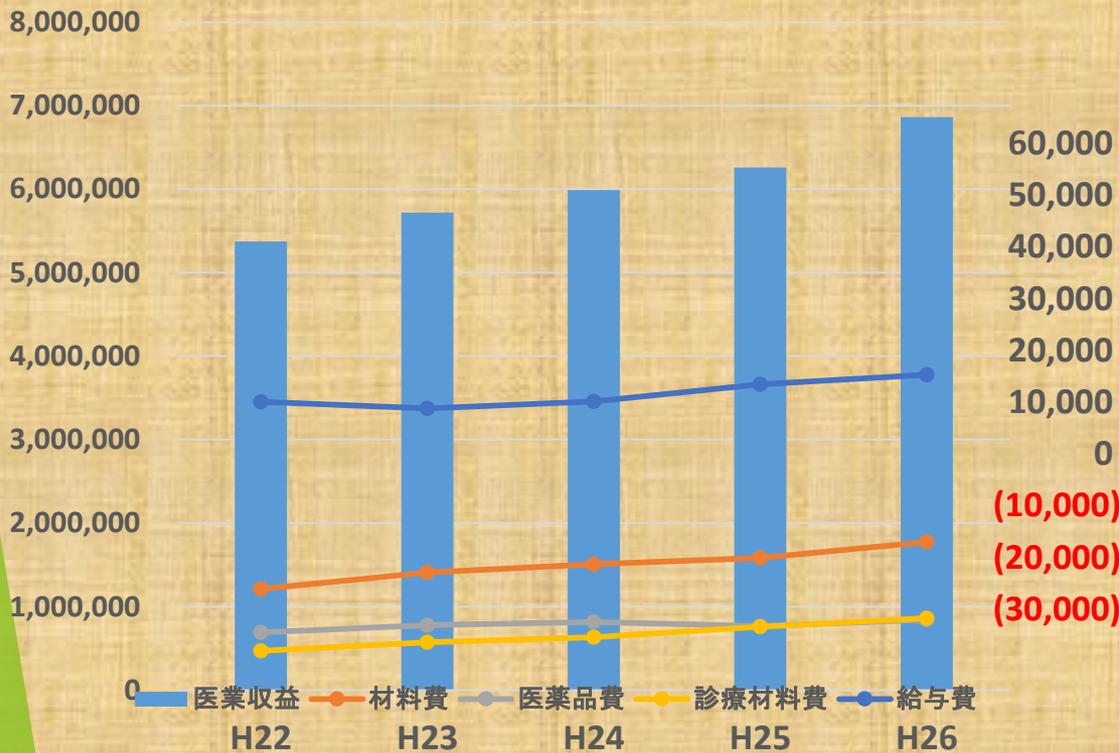
H27年度													
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
手術件数	370	373	456	441	366	439	433	423	385	407	393	399	4,885
1万点以上手術件数(再掲)	186	157	200	210	186	177	184	178	172	167	181	190	2,188

経常収支の推移

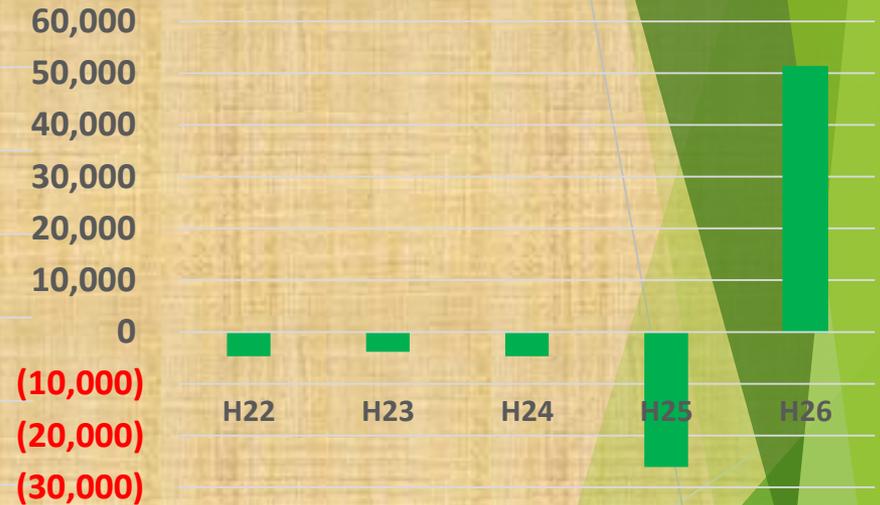
(千円)

	H22	H23	H24	H25	H26
医業収益	5,370,887	5,716,396	5,989,855	6,258,459	6,862,731
材料費	1,212,304	1,407,174	1,508,340	1,583,995	1,771,863
医薬品費	691,028	777,496	817,671	767,847	844,087
診療材料費	469,787	574,427	633,830	758,350	862,204
給与費	3,454,986	3,371,891	3,456,210	3,662,671	3,776,289
経常利益	-4,674	-3,804	-4,660	-26,054	51,244

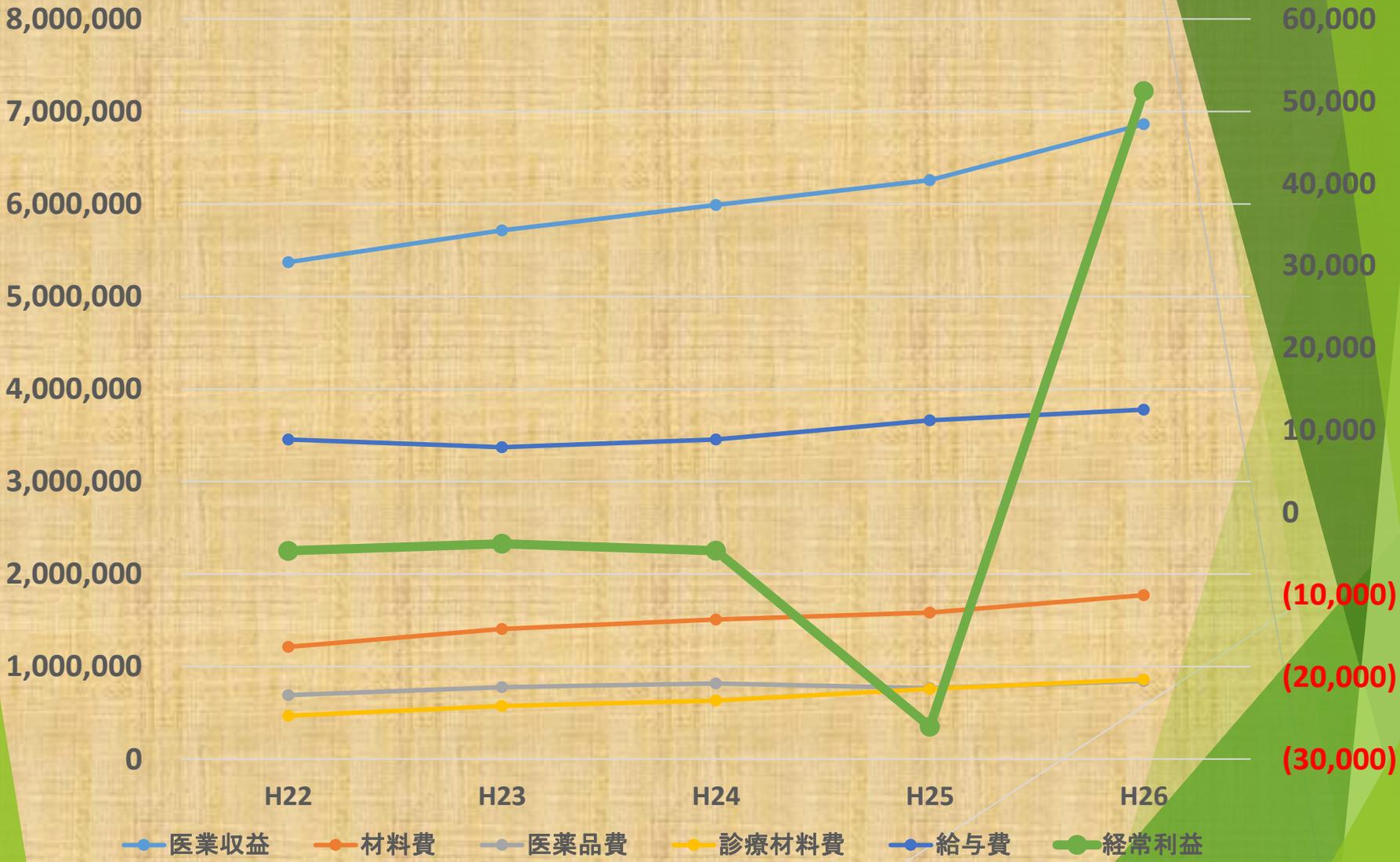
収支の推移



経常利益



収支の推移



横須賀市立市民病院の収支動向

※市病院事業会計と指定管理者会計との合算数値

市直営←

→指定管理者制度

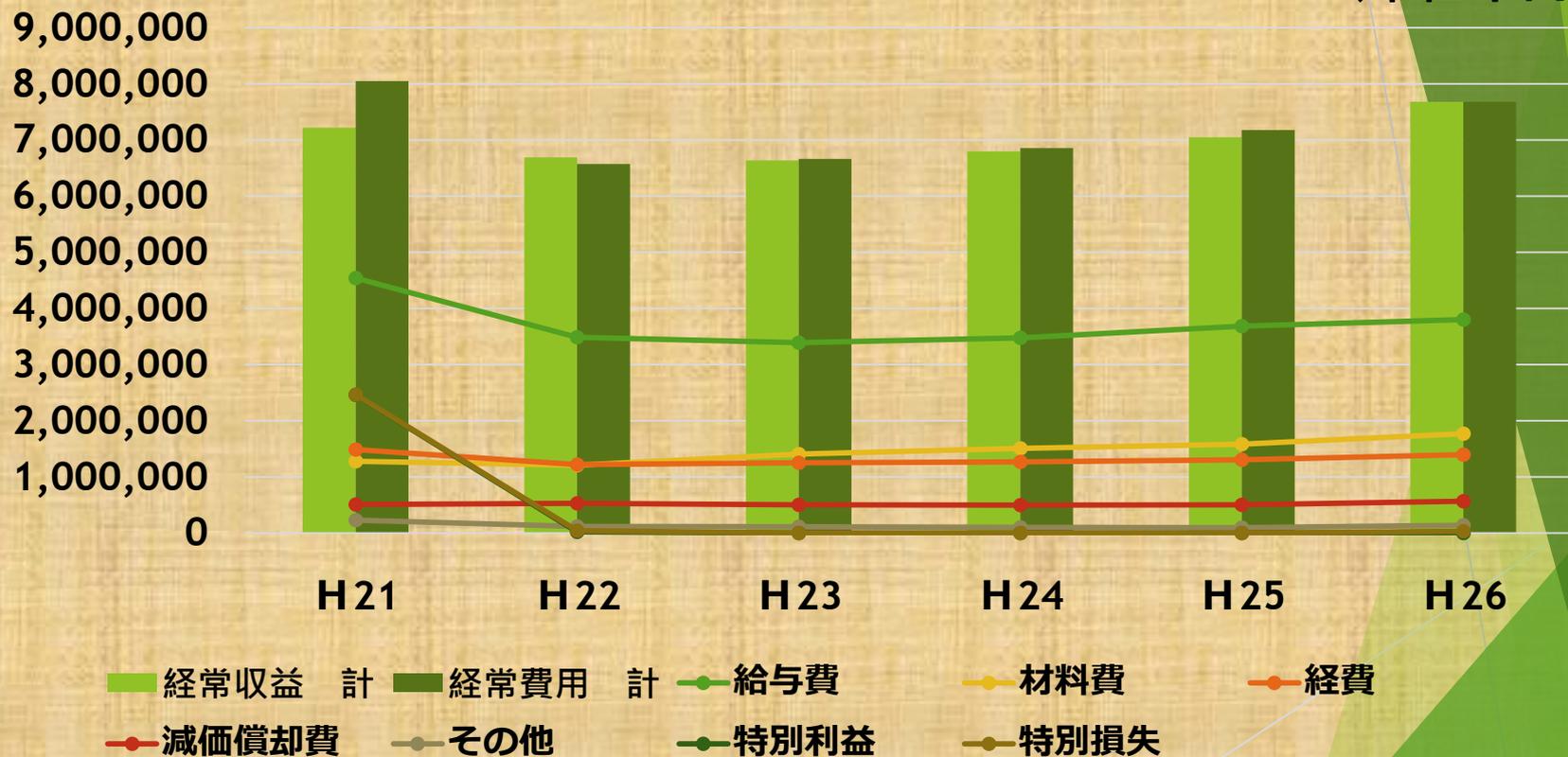
(単位千円)

	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
入院収益	3,805,719	3,450,355	3,645,929	3,896,820	4,096,006	4,614,503
外来収益	1,951,269	1,637,057	1,778,379	1,811,843	1,898,109	1,984,407
一般会計繰入金	1,039,000	1,228,196	822,427	699,221	658,000	643,000
その他	422,367	376,038	391,228	387,922	396,296	437,343
経常収益 計	7,218,355	6,691,646	6,637,963	6,795,806	7,048,411	7,679,252
給与費	4,541,924	3,488,242	3,390,715	3,477,635	3,683,343	3,802,462
材料費	1,277,257	1,212,304	1,407,174	1,508,339	1,583,993	1,771,863
経費	1,489,844	1,220,762	1,250,523	1,269,338	1,304,273	1,397,996
減価償却費	511,594	531,966	502,768	498,185	506,260	567,259
その他	230,905	120,469	111,629	103,646	97,013	139,259
経常費用 計	8,051,524	6,573,743	6,662,809	6,857,142	7,174,883	7,678,840
経常損益	△ 833,169	117,903	△ 24,846	△ 61,336	△ 126,471	412
特別利益	2,464,037	24,768	0	0	0	0
特別損失	2,464,618	46,415	0	0	0	34,857
純損益	△ 833,750	96,256	△ 24,846	△ 61,336	△ 126,471	△ 34,444

横須賀市立市民病院の収支動向

※市病院事業会計と指定管理者会計との合算数値

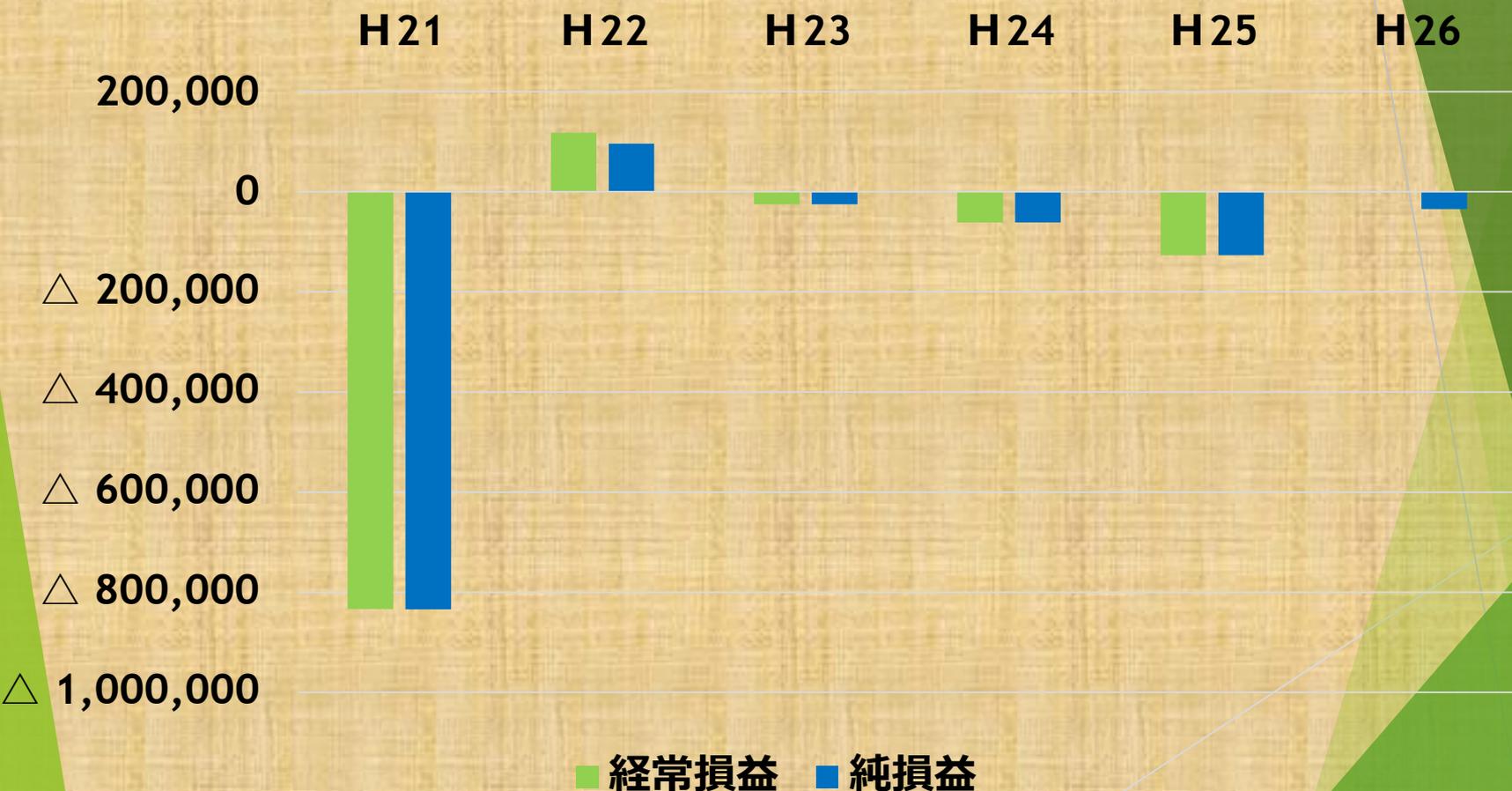
(単位千円)



横須賀市立市民病院の収支動向

※市病院事業会計と指定管理者会計との合算数値

(単位千円)

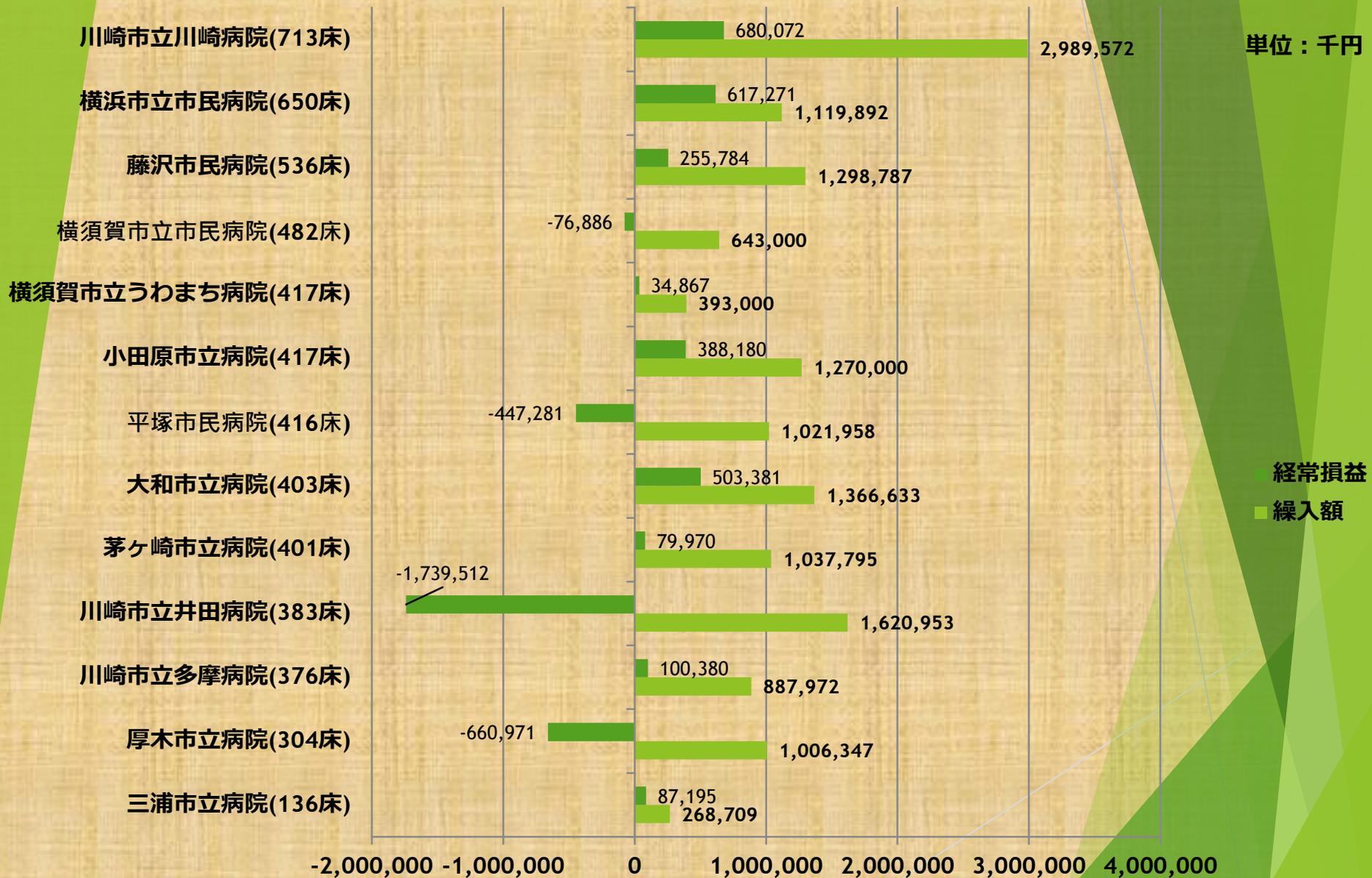


26年度病院事業会計決算 県内自治体病院との比較

単位:千円

病院名	繰入額	経常損益
川崎市立川崎病院(713床)	2,989,572	680,072
横浜市立市民病院(650床)	1,119,892	617,271
藤沢市民病院(536床)	1,298,787	255,784
横須賀市立市民病院(482床) ※指定管理	643,000	-76,886
横須賀市立うわまち病院(417床) ※指定管理	393,000	34,867
小田原市立病院(417床)	1,270,000	388,180
平塚市民病院(416床)	1,021,958	-447,281
大和市立病院(403床)	1,366,633	503,381
茅ヶ崎市立病院(401床)	1,037,795	79,970
川崎市立井田病院(383床)	1,620,953	-1,739,512
川崎市立多摩病院(376床) ※指定管理	887,972	100,380
厚木市立病院(304床)	1,006,347	-660,971
三浦市立病院(136床)	268,709	87,195

26年度病院事業会計決算 県内自治体病院との比較



市民病院の今後の運営について

膝関節の改良型骨切り術

膝関節の改良型骨切り術

変形性膝関節症など膝関節の病気を、進行すると人工関節に置き換える手術が治療の主流となっているが、自分の膝を温存しながら、リハビリ期間も短くなった改良型の骨切り術が開発され、広まりつつある

対象となる病気

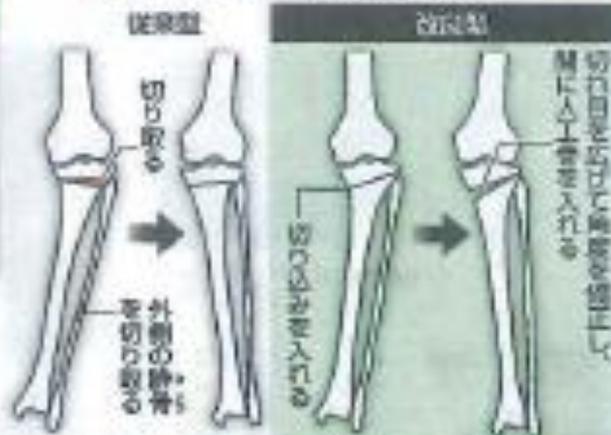
- 変形性膝関節症
- 股骨壊死など

変形性膝関節症の主な症状

- 〇脚に変形し膝が痛み
- 曲げ伸ばしが困難に

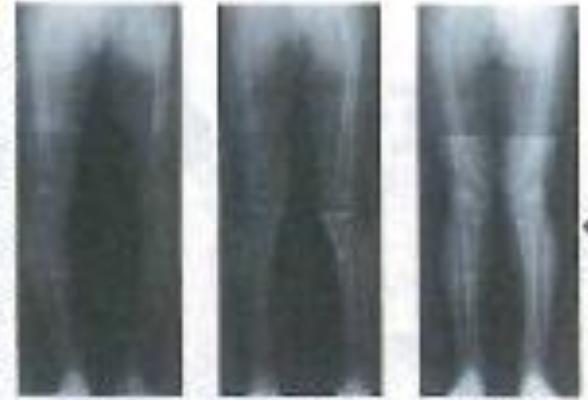


骨切り術の従来型と改良型の違い



手術前 手術後
軟骨がなくなった腔隙部と、手術後1年で軟骨が再生した腔隙部(内視鏡写真)

手術後、手術後のエックス線写真



人工関節に置き換える

改良型骨切り術が受けられる全国の主な病院

札幌市	山の宇通八木病院
新潟市	福山医療病院
富山市	市立富山市民病院
埼玉市	埼玉医科大学
神戸市	神戸市立市民病院
大阪市	大阪市立総合医療センター(旧大阪厚生年金病院)
兵庫県西宮市	兵庫県大
高山市	富山県立総合医療センター
広島県福山市	日本新報福山病院
富山県砺波市	砺波病院
福岡市	福岡リハビリテーション病院

福岡市立市民病院整形外科センター長の竹内良平さん監修

資料提供: 福岡市立市民病院

膝関節の病気

温存型「骨切り術」に注目

読売新聞より抜粋

膝関節症治療の実力病院（上位52病院） ※抜粋

膝関節症治療の実力病院 （上位52病院）		診療実績				運営体制 機 医 構 療 （点） 機能評価	施設体制		
		DPCデータの膝関節症 （変形性を含む）の症例数					M C R T I および 撮影	リ 運 ハ ビ ビ リ 器 科	
医療機関名	所在地	手術あり	術人工 など 関節	骨切 り 術	手術なし				
							【関東】	群馬中央病院	
埼玉メディカルセンター	埼玉	*177	177	-	*-	71		○	I
船橋整形外科病院	千葉	399	348	-	*-			○	I
江戸川病院	東京	180	170	-	*-			○	I
東京医科大学病院	東京	79	75	-	*83			○	I
日本大学医学部付属板橋病院	東京	*135	120	11	*-	69		○	I
東邦大学医療センター大森病院	東京	*130	120	-	*-	79		○	I
湘南鎌倉総合病院	神奈川	285	284	-	*-	73		○	I
横須賀市立市民病院	神奈川	206	85	76	*-	76		○	I
済生会横浜市東部病院	神奈川	117	117	-	*-			○	I
【中部・東海】	飯田病院	長野	154	154	-	*-	76	○	I
	総合病院聖隷三方原病院	静岡	199	194	-	*-	74	○	I
	はちや整形外科病院	愛知	*133	130	-	*-		○	I
	名古屋医療センター	愛知	*117	115	-	*-	70	○	I
	伊勢赤十字病院	三重	*126	115	-	*-		○	I
【近畿】	京都府立医科大学付属病院	京都	67	59	-	*61	74	○	I
	大阪医療センター	大阪	182	182	-	*-	72	○	I
	高槻病院	大阪	172	169	-	*-	75	○	I
	大阪労災病院	大阪	167	165	-	*-	72	○	I
	大阪府済生会中津病院	大阪	160	160	-	*-	*68	○	I
	東住吉森本病院	大阪	157	157	-	*-	*69	○	I
	地域医療機能推進機構大阪病院	大阪	141	129	12	*-	74	○	I
	大阪府立急性期・総合医療センター	大阪	134	134	-	*-	*75	○	I
	近畿大学医学部付属病院	大阪	133	133	-	*-	76	○	I
	大阪市立総合医療センター	大阪	123	121	-	*-	*72	○	I
	大阪赤十字病院	大阪	121	117	-	*-	75	○	I
	市立伊丹病院	兵庫	145	145	-	*-	74	○	I
	香芝旭ヶ丘病院	奈良	*165	155	-	*-		○	I
	西の京病院	奈良	*163	159	-	*-		○	I

週刊朝日より抜粋、
改変

膝関節症治療の実力病院（上位52病院） ※抜粋

膝関節症治療の実力病院 （上位52病院）			診療実績				運営体制	施設体制	
			DPCデータの膝関節症 （変形性を含む）の症例数					手術あり	手術なし
医療機関名	所在地	手術あり	人工関節 など	骨切り 術	手術なし	医療機能評価 （点）	MRI および 撮影		
		【関東】	群馬中央病院	群馬	*171			170	-
埼玉メディカルセンター	埼玉		*177	177	-	*-	71	○	I
船橋整形外科病院	千葉		399	348	-	*-		○	I
江戸川病院	東京		180	170	-	*-		○	I
東京医科大学病院	東京		79	75	-	*83		○	I
日本大学医学部付属板橋病院	東京		*135	120	11	*-	69	○	I
東邦大学医療センター大森病院	東京		*130	120	-	*-	79	○	I
湘南鎌倉総合病院	神奈川		285	284	-	*-	73	○	I
横須賀市立市民病院	神奈川		206	85	76	*-	76	○	I
済生会横浜市東部病院	神奈川	117	117	-	*-		○	I	

週刊朝日より抜粋、改変

外来化学療法室（8床）

2015年度	1473件
2016年度上半期	820件



ICU(特定集中治療室) 管理加算 I

4床



ICU の整備⇒ICU管理加算 I の取得

- i . 中4階病棟に移転
1床当たり、20 m² に拡張(2015年5月)
- ii . ME センターの当直体制構築(同11月)
- iii . 医師の研修完遂 (3名:指導医級)(同11月)



施設基準 I 取得(同12月)

- iv . 重症度の維持(28年度診療報酬への対応)

特定集中治療室管理加算Ⅰ算定施設

病院名	第 号	取得年月日
恩賜財団 済生会 横浜市東部病院	第4号	平成27年9月1日
公益社団法人 地域医療振興協会 横須賀市立市民病院	第5号	平成27年12月1日
公立大学法人 横浜市立大学付属病院	第6号	平成28年1月1日
横浜市立みなと赤十字病院	第3号	平成28年8月1日
北里大学病院	第7号	平成28年8月1日
独立行政法人労働者健康安全機構 横浜労災病院	第2号	平成28年9月1日
公立大学法人 横浜市立大学付属市民総合医療センター	第8号	平成28年9月1日

※第1号は欠番(取り下げ)

特定集中治療室管理加算 I 算定施設

病院名	第 号	取得年月日
独立行政法人労働者健康安全機構 横浜労災病院	第2号	平成28年9月1日
横浜市立みなと赤十字病院	第3号	平成28年8月1日
恩賜財団 済生会 横浜市東部病院	第4号	平成27年9月1日
公益社団法人 地域医療振興協会 横須賀市立市民病院	第5号	平成27年12月1日
公立大学法人 横浜市立大学付属病院	第6号	平成28年1月1日
北里大学病院	第7号	平成28年8月1日
公立大学法人 横浜市立大学付属市民総合医療センター	第8号	平成28年9月1日

※第1号は欠番(取り下げ)

HCU (ハイケアユニット) 管理加算 I

12床



健康管理センター

2015年度	医療相談	：人間ドック件数	1120件	その他	7000件	計8120件
同	公衆衛生	： 集団検診件数				計8216件



救急外来・診察ブース俯瞰図

2015年度救急車搬入数

2983台

同

救急車以外来院

4398人



透析センター (23床)

2015年度：稼働率 70.2% 維持透析患者 63名
2016年度上半期：稼働率 73.0% 維持透析患者 67名



血液浄化、病棟透析件数

	2015年度件数	2016年度上半期件数
血液透析 (HD)	69	32
血液濾過 (HF)	6	3
血液濾過透析 (HDF)	4	3
持続的血液濾過療法 (CHDF)	50	31
血漿交換 (PF)	17	0
二重濾過血漿交換 (DFPP)	7	0
エンドトキシン吸着 (PMX)	10	10
腹水濾過濃縮再静注法 (CART)	6	4
活性炭吸着 (DHP)	0	0
白血球除去療法 (LCAP)	0	0
顆粒球吸着療法 (GCAP)	0	0
LDL吸着療法	19	26
合 計	188	109

放射線治療件数

2015年 年間放射線治療(科別件数)

1月1日～12月31日

	呼吸器科	外科	消化器科	血液内科	耳鼻科	連携	脳外科	計
肺がん	5							5
食道がん		4	1					5
乳がん		18				6		24
骨転移	4	6	1	2				13
脳転移	2	1					1	4
転移		4						4
リンパ節転移	3	3						6
耳鼻科系がん					3			3
血液内科系がん				5				5
骨盤		2				2		4
計	14	38	2	7	3	8	1	73

2016年 上半期 放射線治療(科別件数)

1月1日～6月30日

	呼吸器科	外科	消化器科	血液内科	耳鼻科	連携	脳外科	計
肺がん	6							6
食道がん			7					7
乳がん		7				4		11
骨転移	4	3						7
脳転移	1			1				2
転移								0
リンパ節転移		2						2
耳鼻科系がん					1			1
血液内科系がん				6				6
骨盤								0
計	11	12	7	7	1	4	0	42

血管造影装置説明

- ▶ 東芝製 X線アンギオシステム
- ▶ バイプレーン装置（同時2方向撮影）
- ▶ FPD（フラット・パネル・ディテクター） サイズ：30 cm × 30 cm
- ▶ 56インチの大画面モニターを設置して撮影画像・心電図等を分割して表示可能
- ▶ Low contrast imaging(回転収集された画像は三次元表示可能)
- ▶ SUPER NOISE REDUCTION FILTER
(ノイズの少ない、残像の影響の少ない画像を表示できます)

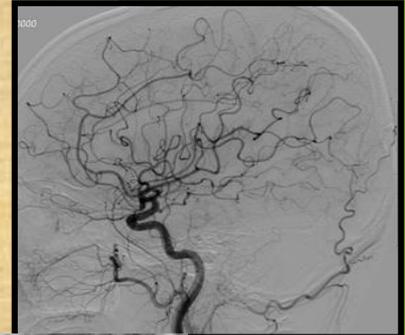
血管造影装置使用症例数

検査・処置・手術項目	平成27年度	平成28年度上半期
経皮的冠動脈ステント留置術*1	320	148
冠動脈造影検査	531	225
ペースメーカー植え込み等*2	30	14
四肢血管拡張術	66	72
シャント血管形成術+上肢静脈造影	5	13
透視下一時ペーシング	34	10
腹部血管造影+肝動脈塞栓術	7	16
嚥下造影	78	30
頭部血管造影*3	8	1
その他	27	13
合 計	1,106	492

*1：経皮的冠動脈ステント留置術、経皮的冠動脈血管形成術

*2：永久ペースメーカー植え込み術、ペースメーカー電池交換術

*3：頭部血管造影、脳血管形成術



東芝製 X線アンギオシステム INFX-8000V

CT , MRI 装置説明

* 320列CT:従来のCTより少ない被爆量で撮影可
1回転(0.35秒)で160mmの範囲が撮影可

* 64列CT:

1回転(0.35秒)で32mmの範囲が撮影可

* 3TMRI :高磁場のため画質が良い

開口部が広い為、患者さんにやさしい

* 1.5TMRI:

320列CT装置

従来のCTより少ない被ばく線量で撮影できる
1回転（0.35秒）160mmの範囲が撮影できる



東芝社製 2015年3月 稼動

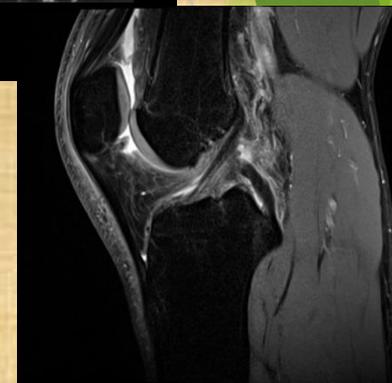
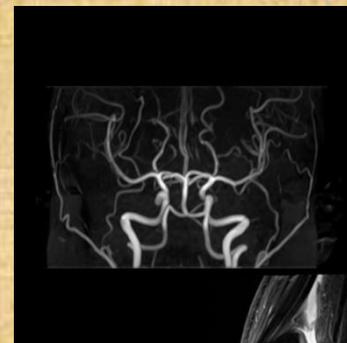
64列CT装置

1回転（0.35秒）で32MMの範囲が撮影できる



3TMRI装置

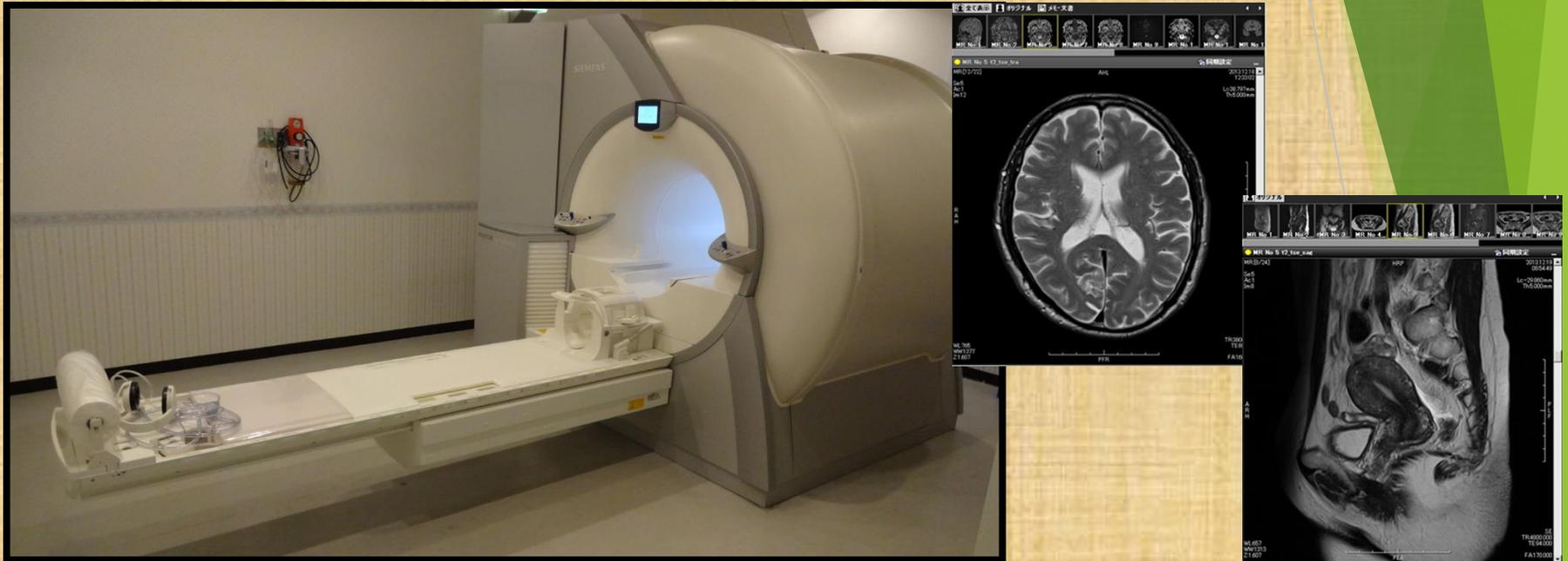
- ▶ 高磁場のため画質が良い
- ▶ 広い開口部のため患者さんにやさしい



シーメンス社製 2014年2月 稼動

1.5TMRI装置

- ▶ 旧装置をアップグレードしたため費用を抑えて最新の技術が使える



シーメンス製 2013年12月 稼動

MRI装置

5,490件（内 共同利用数1,303件）

平成27年度実績

1.5TMRI装置



3TMRI装置



CT装置

13,003件（内 共同利用数361件）平成27年度実績

320列CT装置



64列CT装置



泌尿器科診療開始

ESWL(ドルニエ社製) 体外衝撃波結石破碎装置



パルス・ホルミウム・ヤグレーザー：経尿道的結石摘出術、経皮的結石摘出術



ツリウム・ヤグレーザー（経尿道的膀胱腫瘍、上部尿路腫瘍、前立腺腫瘍切除術）



昨年(2015年)度、達成したこと

- ① 中5階病棟の7:1病棟を増床
 - ② 医療事故調査制度 ⇒ 院内体制の整備
 - ③ 病床機能報告、地域医療構想 ⇒ 県に報告済
 - ④ HCU の整備 ⇒ 8床から12床へ増床 (HCU加算 I)
 - ⑤ ICU の整備 ⇒ ICU加算 I の取得 (12月)
 - i . 中4階病棟に移転 (6月)
 - ii . 1床当たり、20 m² に拡張 (5月)
 - iii . ME センターの当直体制構築 (11月)
 - iv . 医師の研修完遂 (11月)
 - v . 重症度の維持(28年度診療報酬対応)
- 施設基準取得

今年度(2016)中に達成すべきこと

- ① 3月に、電子カルテを稼働させ、安定的に維持すること
- ② 4月の診療報酬改定に対応すること
重症度、看護・医療必要度をふまえた7：1病棟、
ICU , HCU等の急性期、高度急性期病棟を維持すること
- ③ 7月の病院機能評価に適切に対応すること
- ④ 9月のビッグレスキュー救護訓練を成功させること
- ⑤ 10月1日に地域包括ケア病棟を開棟し、適切に運営
すること

市民病院の基本的な取り組み

1. 急性期病院として、救急医療を推進する
2. DPCに対応した経営方針の維持
3. 院内がん登録・緩和医療推進：がん診療体制の強化
4. 第二種感染症指定医療機関としての任務の遂行
5. 災害拠点病院、初期被ばく医療機関としての任務の遂行
6. 保険医療機関であることを認識し、施設基準を遵守する

ビッグレスキュー神奈川 2016

神奈川県内DMAT 5隊
うわまち病院応援部隊 10名参加



ビッグレスキュー神奈川・訓練の実際



赤エリアを準備

横須賀市立市民病院DMAT

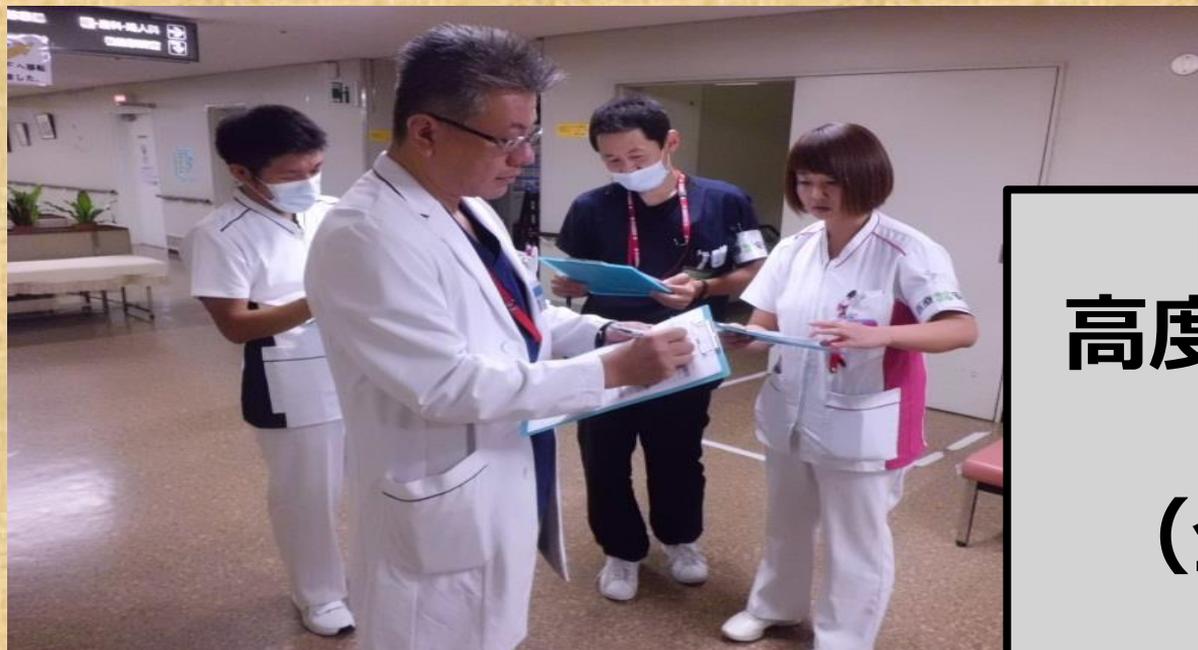


感染症病棟訓練・完全型PPE装着

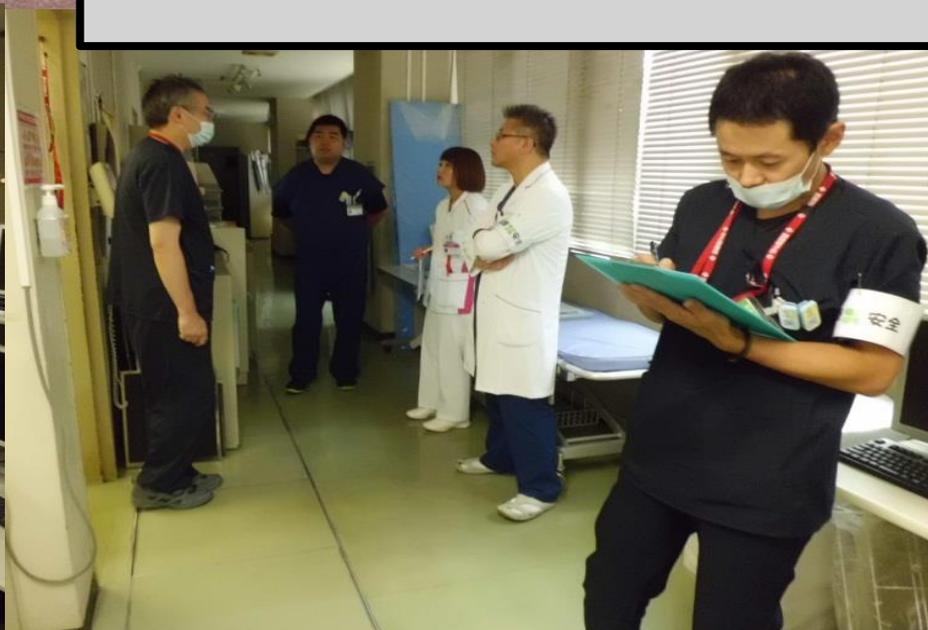
新型インフルエンザ対策BCPを策定



医療安全ラウンド



日本医療安全学会
高度医療安全管理者
2名
(全国で17名)



NSTおよび嚥下チームの活動風景



褥瘡対策チーム・ラウンド

医師、皮膚・排泄ケア認定
看護師、薬剤師、管理栄養
士等がラウンドする



重症度、 医療・看護必要度の維持

- ① 7:1病棟の重症度25%を、維持する
- ② HCUの重症度を、維持する
- ③ 7:1病棟、HCU、ICUの重症度を可及的に維持し、
施設基準を維持する
- ④ 10月包括ケア病棟の運営を円滑に進めるため院内
からの転棟患者の選定基準を確立する

病棟編成

<6月1日現在284床>

ICU4床：看護職配置15名（1名）

HCU12床：看護職配置21名

7：1病棟 262床：154名（21名） 感染症病棟 6床



<10月1日病棟編成318床>

地域包括ケア病棟開棟34床：16名

ICU4床：看護職配置15名（1名）

HCU12床：看護職配置21名

7：1病棟 262床：看護職配置140名（21名）

*7：1病棟・看護時間・夜勤時間72時間以内を確保できるよう人材確保を継続

医療・看護必要度

- ▶ HCU管理料 I : 新基準で99.5% (4~9月平均)
- ▶ 7:1病棟



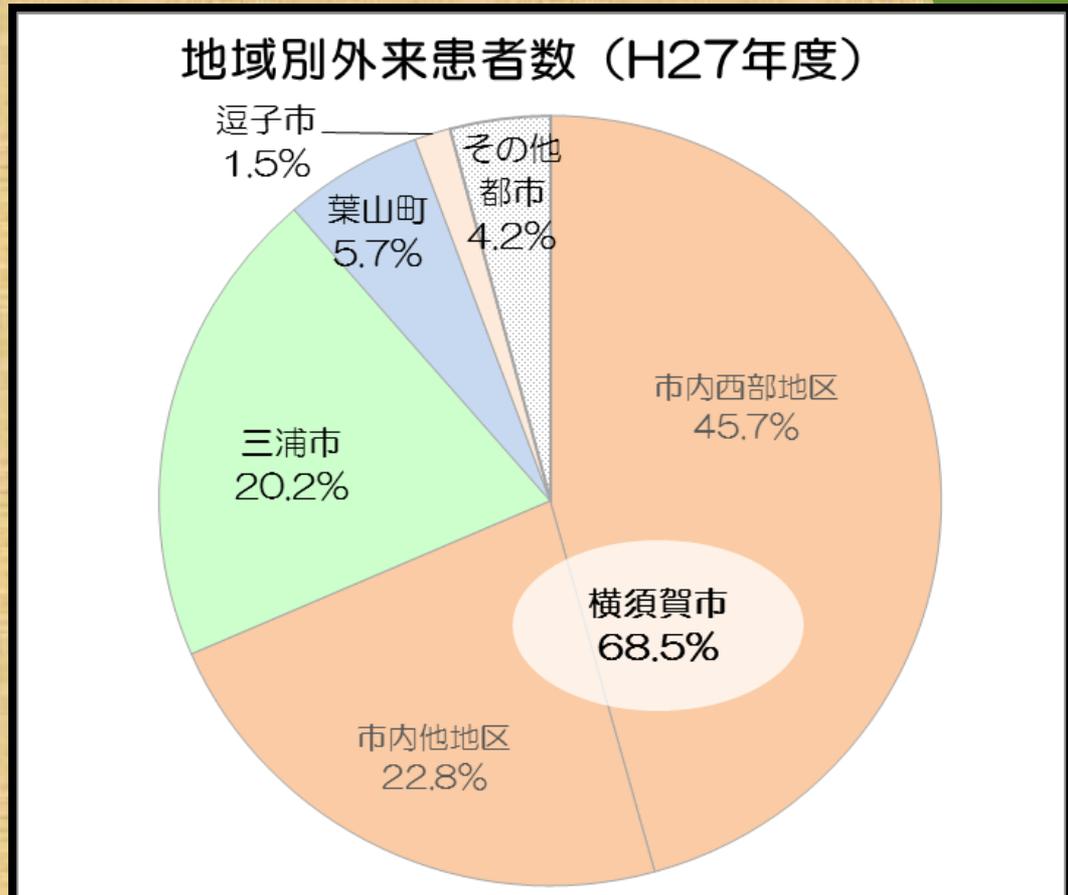
- ▶ HCU、7:1病棟の医療・看護必要度は比較的容易に維持可能
- ▶ ICU 管理料 I : 重症度、看護必要度は維持可能

横須賀・三浦二次保健医療圏 の医療体制について

地区別外来患者数（H27年度）

	横須賀市			三浦市	葉山町	逗子市	その他 都市	合 計
	西部地区	その他	市 計					
入院患者実数	78,983	39,402	118,385	34,837	9,924	2,540	7,175	172,861
構成比	45.7%	22.8%	68.5%	20.2%	5.7%	1.5%	4.2%	
<参考>								
横須賀市内構成比	66.7%	33.3%						

西部地区は横須賀市西行政センター管轄地区を集計。

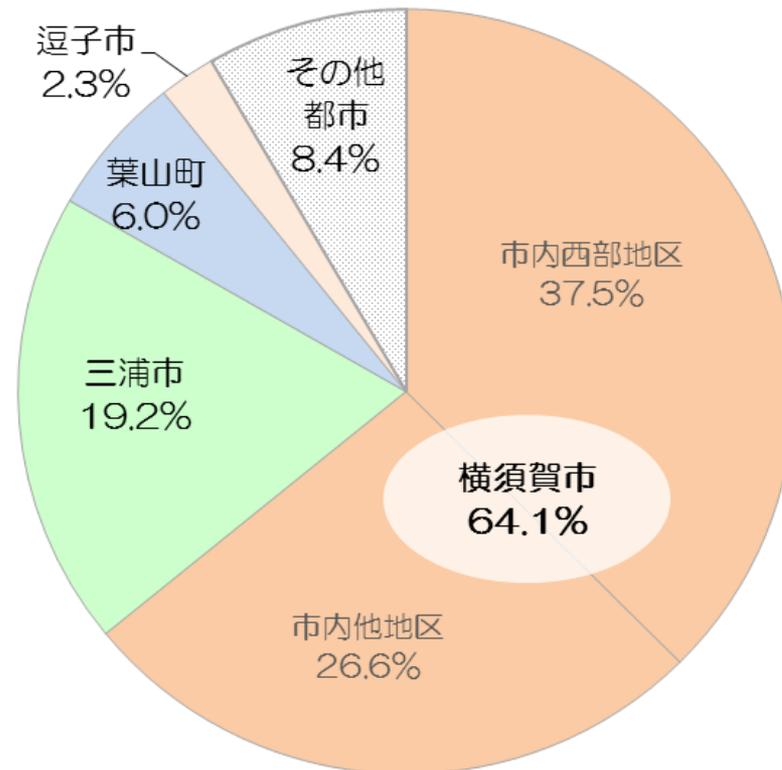


地区別入院患者実数（H27年度）

	横須賀市			三浦市	葉山町	逗子市	その他都市	合計
	西部地区	その他	市計					
入院患者実数	2,143	1,517	3,660	1,098	340	134	479	5,711
構成比	37.5%	26.6%	64.1%	19.2%	6.0%	2.3%	8.4%	
<参考>								
横須賀市内構成比	58.6%	41.4%						

西部地区は横須賀市西行政センター管轄地区を集計。

地域別入院患者実数（H27年度）



今年度以降の基本方針

1. 地域医療構想に沿って、将来にわたる市民病院の病院機能を策定し毎年、県に報告する
2. 高度急性期、急性期、回復期、慢性期の病床数は横須賀・三浦二次保健医療圏内で調整される
3. これに対し、市民病院では医療機能をさらに充実させ、重症度、医療・看護必要度の高い患者を診療する方針で対処する
4. 医療資源投入量に基づいた、病床構成を忠実に実現させることを第一義的な課題とする
5. 今年度、下半期より地域包括ケア病棟を開設し、当医療圏で不足している回復期病床とする

病床の機能別分類の境界点の考え方

	医療資源投入量	基本的考え方
高度急性期	C1 3,000点	救命救急病棟やICU、HCUで実施するような重症者に対する診療密度が特に高い医療(一般病棟等で実施する医療も含む)から、一般的な標準治療へ移行する段階における医療資源投入量
急性期		
回復期	C2 600点	急性期における医療が終了し、医療資源投入量が一定程度落ち着いた段階における医療資源投入量
※	C3 225点	在宅等においても実施できる医療やリハビリテーションの密度における医療資源投入量 ただし、境界点に達してから在宅復帰に向けた調整を要する幅の医療需要を見込み175点で推計する。

※ 在宅復帰に向けた調整を要する幅を見込み175点で区分して推計する。なお、175点未満の患者数については、慢性期機能及び在宅医療等の患者数として一体的に推計する。

病床機能報告

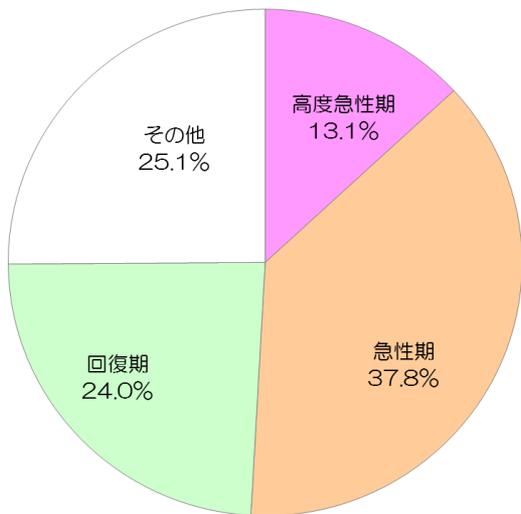
横須賀市立市民病院

※他に感染症病床6床あり(合計許可病床数482床)

		高度急性期	割合	急性期	割合	回復期	割合	慢性期	割合	未選択	割合	合計	稼働数
平成26年度	平成26年7月の病床	25	5%	315	66%	0	0%	0	0%	136	29%	476	340
	6年後の病床	25	5%	356	75%	95	20%	0	0%	0	0%	476	476
	平成37年7月の病床	25	5%	356	75%	95	20%	0	0%	0	0%	476	476
平成27年度	平成27年7月の病床	137	29%	203	43%	0	0%	0	0%	136	29%	476	340
	6年後の病床	137	29%	244	51%	95	20%	0	0%	0	0%	476	476
	平成37年7月の病床	137	29%	244	51%	95	20%	0	0%	0	0%	476	476
平成28年度	平成28年7月の病床	137	29%	201	42%	0	0%	0	0%	138	29%	476	338
	6年後の病床	84	18%	297	62%	95	20%	0	0%	0	0%	476	476
	平成37年7月の病床	84	18%	297	62%	95	20%	0	0%	0	0%	476	476

医療資源投入量による病床比率 (H27年度)

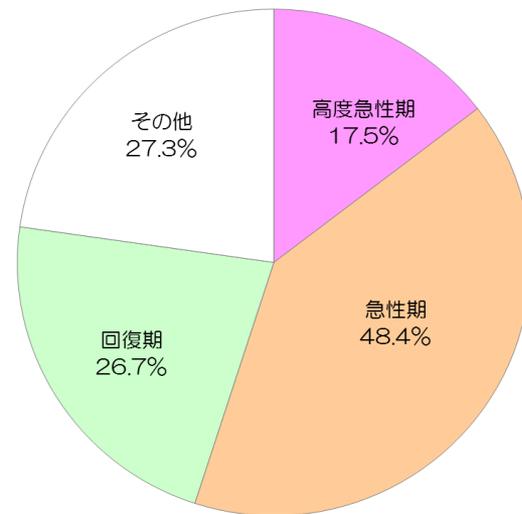
医療資源投入量 構成比 (H27年度)



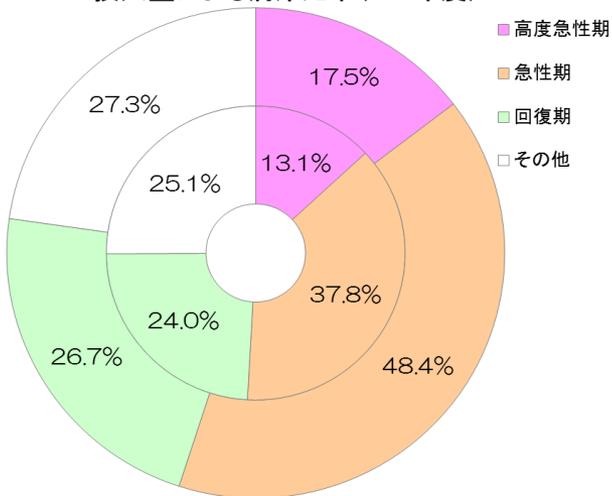
病床稼働率(全国)

機能区分	稼働率
高度急性期	75%
急性期	78%
回復期	90%
その他	92%

投入量による病床比率(H27年度)



投入量による病床比率 (H27年度)



外側：病床比率
内側：医療資源投入量

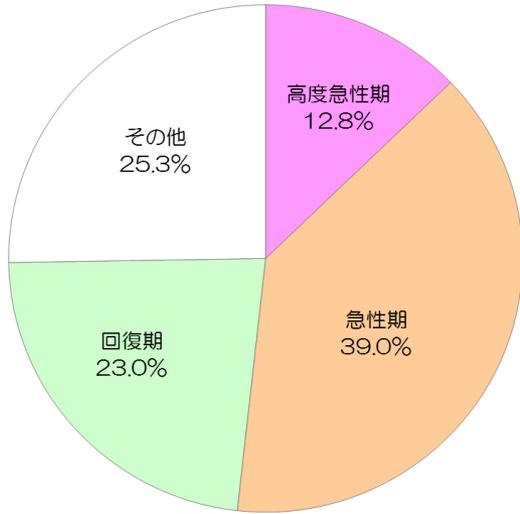
※病床比率は下記の稼働率 (全国一律) を使用し算出

病床稼働率(全国)

機能区分	稼働率
高度急性期	75%
急性期	78%
回復期	90%
その他	92%

医療資源投入量による病床比率・H28年上半期

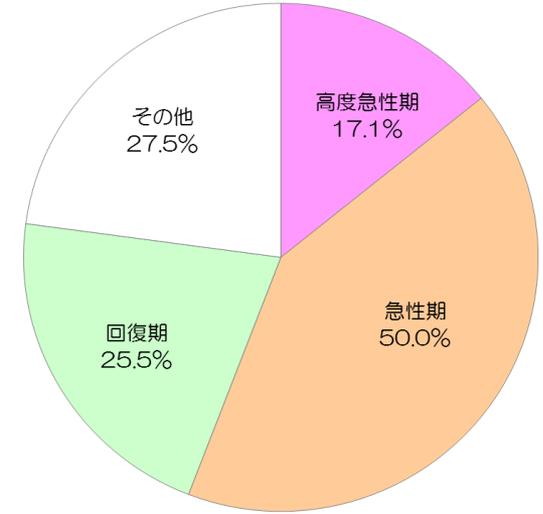
医療資源投入量 構成比 (H28.4~H28.9)



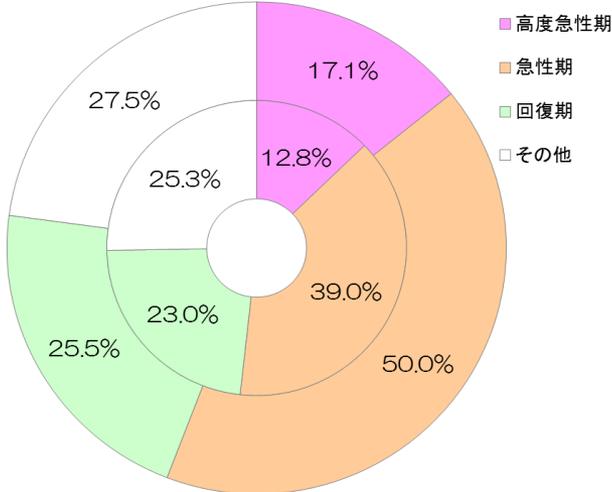
病床稼働率(全国)

機能区分	稼働率
高度急性期	75%
急性期	78%
回復期	90%
その他	92%

投入量による病床比率 (H28.4~H28.9)



投入量による病床比率 (H28.4~H28.9)



外側：病床比率
内側：医療資源投入量

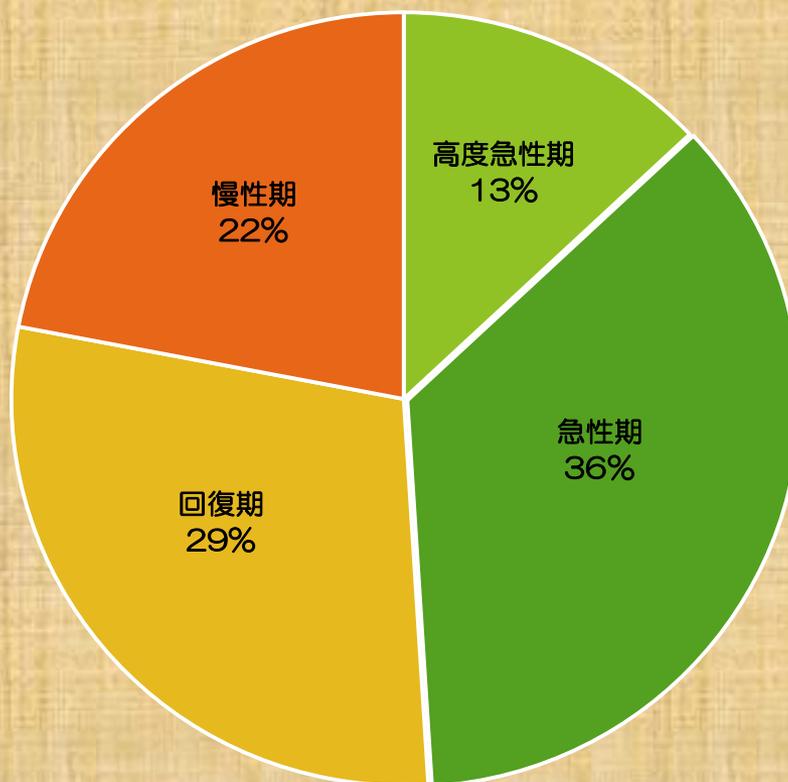
※病床比率は下記の稼働率（全国一律）を使用し算出

病床稼働率(全国)

機能区分	稼働率
高度急性期	75%
急性期	78%
回復期	90%
その他	92%

神奈川県（全体）における必要病床数

医療資源投入量による病床比率



地域包括ケア病棟開設について

設備投資など

- ・設備改修 ※県補助金3/4
- ・1床あたり床面積 6.4m²の確保(以前は、5.3 m²)
- ・34床(4床部屋 8室、個室 2室)
- ・リハビリテーション専用環境の整備
- ・デイルーム、コミュニティスペースの設置
- ・病棟の設備改修
- ・医療機器整備

地域包括ケア病棟の機能

- ① 高度急性期、急性期疾患治療後の患者の受入とリハビリテーションなどの継続(post-acute)
- ② 地域医療機関、介護施設などからの患者受け入れ (sub-acute)
- ③ 上記患者の自宅(施設)復帰に向けた治療、リハビリテーションなどの提供。

地域包括ケア病棟開設の目的

- ① 地域医療構想の中で市民病院の果たすべき回復期病床としての機能
- ② 地域医療支援病院、在宅療養後方支援病院としての地域の患者受け入れ
- ③ 急性期、高度急性期病院(DPC病院)としての病院機能の効率的な維持